

県小体研だより

鳥取県小学校体育研究会 令和5年9月発行

〈大会一か月前〉

3分科会の提案発表者、指導助言者に「大会当日、こんな分科会になれば！」という思いを聞きました。

「器械運動」

○ 提案発表者 橋本恭佑教諭 (久松小)

児童の豊かな関わり合いや運動の楽しさに浸ることを意識して研究を進めてきました。分科会に来られた方々に、「実践してみたい」と思っていただけのように発表したいです。成果だけでなく課題もある実践かと思いますが、発表者である自分にとっても学びのある時間になればと思います。

○ 指導助言者 寺谷孝志教頭 (明治小)

橋本教諭の実践は、鳥取県が体育科の授業において全県で取り組んでいる「ふり返り板の活用」「アンケートの分析・活用」「準教科書の活用」「ICTの活用」が全て効果的に組み込まれており、指導では例を挙げながらどの学校においても参考にさせていただくことができることをお伝えしたいです。

「走・跳の運動（遊び）」

○ 提案発表者 堀晃士教諭 (大栄小)

今回の発表では、単元構成や場を工夫することで、体育授業に“浸っている”状態をつくり出すこと、「する・みる・支える・知る」の系統表に基づいた授業を行うことで、関わり合いを具体化し、効果的な指導・支援につなげることができることについて分かりやすく提案します。

○ 指導助言者 青木慎吾指導主事 (中部教育局)

現場の先生と子どもたちによって創り上げられた実践は、かけがえのない宝です。その宝を共有していただくことで、私達にも、自己の実践に活用できる事例や新たな見方・考え方、挑戦意欲等といった、さらなる宝が得られると思います。感謝と敬意をもって、多くの宝を頂きましょう。



「水泳」

○ 提案発表者 畑田亮太教諭
(明道小)

オープニングムービーで、分科会に来てくださった人の心をぐっとつかみたいと思います。来た人にとって分かりやすい実践発表となるように話し方に気を付けたいです。また、時間がオーバーしてしまわないようにも気を付けたいです。

○ 指導助言者 濱田丈司校長
(淀江小)

この3年間、多くの制約の中、先生方が悩み工夫をして取り組んできた水泳学習です。個々の目標に合わせて教え合う姿を、授業研で久しぶりに見せていただきました。技能の習得と合わせて、学び合う喜びに焦点を当てた協議となることに期待します。



11月2日、10コマの提案授業及び11の分科会が参加者にとって「それぞれの学び」になることは、疑う余地もありません。楽しみです。

今回、原稿をいただきました6人の発表者・助言者の方々にお礼を申し上げます。

(文責 県小体研・顧問 長谷川)